

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年11月12日
【四半期会計期間】	第60期第2四半期（自平成24年7月1日至平成24年9月30日）
【会社名】	ジオマテック株式会社
【英訳名】	GEOMATEC CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 松崎 建太郎
【本店の所在の場所】	神奈川県横浜市西区みなとみらい二丁目2番1号
【電話番号】	(045)222-5720
【事務連絡者氏名】	取締役専務執行役員 中村 和正
【最寄りの連絡場所】	神奈川県横浜市西区みなとみらい二丁目2番1号
【電話番号】	(045)222-5720
【事務連絡者氏名】	取締役専務執行役員 中村 和正
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第59期 第2四半期連結 累計期間	第60期 第2四半期連結 累計期間	第59期
会計期間	自平成23年 4月1日 至平成23年 9月30日	自平成24年 4月1日 至平成24年 9月30日	自平成23年 4月1日 至平成24年 3月31日
売上高(千円)	5,036,805	4,795,118	9,314,094
経常利益(千円)	771,486	282,956	1,073,925
四半期(当期)純利益(千円)	639,444	210,600	879,221
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	615,585	209,661	878,168
純資産額(千円)	16,411,622	16,632,387	16,548,465
総資産額(千円)	24,190,511	24,267,043	25,717,443
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	76.28	25.12	104.88
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	67.8	68.5	64.3
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	150,414	496,066	1,337,849
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	502,617	233,202	1,018,434
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	517,244	629,744	153,011
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	7,173,104	8,150,651	8,523,120

回次	第59期 第2四半期連結 会計期間	第60期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成23年 7月1日 至平成23年 9月30日	自平成24年 7月1日 至平成24年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	37.50	13.99

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要を背景とした持ち直しの動きがみられたものの、欧州債務問題の深刻化による欧米諸国の景気減速、中国等の新興国の成長鈍化、円高の長期化等により、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような環境の中、当社グループの主力市場である中小型フラットパネルディスプレイ（FPD）市場は、スマートフォン向けで顧客の生産調整が長引いていることから厳しい状況で推移いたしました。

この結果、売上高は47億95百万円（前年同四半期比4.8%減）となりました。損益につきましては、売上高が減少したことから営業利益は2億69百万円（前年同四半期比63.7%減）、経常利益は2億82百万円（前年同四半期比63.3%減）となりました。四半期純利益は、投資有価証券評価損66百万円を特別損失に計上したことから2億10百万円（前年同四半期比67.1%減）となりました。

品目別の状況は、次のとおりであります。なお、当社グループは、真空成膜関連製品等の製造、販売を行う単一セグメントであるため、品目別に記載しております。

（FPD用基板）

FPD用基板につきましては、スマートフォン向け液晶パネル用帯電防止膜やタッチパネル用透明導電膜で、液晶パネルメーカーやタッチパネルメーカーの生産調整の影響により受注は減少いたしました。このような状況を踏まえ、当社グループは、デジタルスチルカメラやタブレット端末、カーナビゲーションなど中小型FPD市場製品向けに販売活動に取り組みました。

この結果、売上高は35億78百万円（前年同四半期比7.5%減）となりました。

（光学機器用部品）

光学機器用部品につきましては、プロジェクターやデジタルスチルカメラ向け光学機器部品を中心に販売活動に取り組みましたが低調に推移いたしました。

この結果、売上高は6億32百万円（前年同四半期比18.4%増）となりました。

（その他）

その他につきましては、樹脂基板向け薄膜やマスクブランクス向け薄膜などとともに、その他薄膜製品の販売活動に取り組みました。

この結果、売上高は5億83百万円（前年同四半期比7.9%減）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ3億72百万円減少し、81億50百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は4億96百万円（前年同四半期比229.8%増）となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益が2億16百万円（前年同四半期比65.9%減）と大幅に減少したものの、前年同四半期にあった売上債権の増加と仕入債務の減少による合計8億54百万円の資金減少要因が、当四半期は合計で1億65百万円と大幅に減少したこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は2億33百万円（前年同四半期比53.6%減）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出3億88百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は6億29百万円（前年同四半期比21.7%増）となりました。

これは、長期借入金の返済による支出5億4百万円と配当金の支払額1億25百万円によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は2億46百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	21,600,000
計	21,600,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年11月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	9,152,400	同左	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数100株
計	9,152,400	同左	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成24年7月1日～	-	9,152,400	-	4,043,850	-	8,297,350
平成24年9月30日						

(6) 【大株主の状況】

平成24年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
松崎 隆造	神奈川県横浜市中区	1,052	11.49
ジオマテック株式会社	神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1	769	8.41
松崎 建太郎	神奈川県横浜市中区	423	4.62
みずほ信託銀行株式会社 退職給 付信託 東京都民銀行口 再信託受 託者 資産管理サービス信託銀行 株式会社	東京都中央区晴海1-8-12	418	4.57
有限会社松崎興産	東京都品川区大井1-45-6	336	3.67
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2-7-1	303	3.31
ジオマテック従業員持株会	神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1	213	2.32
日本マスタートラスト信託銀行株 式会社(信託口)	東京都港区浜松町2-11-3	155	1.70
明治安田生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内2-1-1	154	1.68
梅田 照男	京都府京丹後市	130	1.42
計	-	3,956	43.23

(注) 「みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 東京都民銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社」
 の所有株式数418千株は、株式会社東京都民銀行が保有する当社株式を退職給付信託に拠出したものであります。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 769,700	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,380,600	83,806	-
単元未満株式	普通株式 2,100	-	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	9,152,400	-	-
総株主の議決権	-	83,806	-

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、株式会社証券保管振替機構名義の株式が200株含まれております。また、「議決権の数」の欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数2個が含まれております。

【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
ジオマテック株式会社	神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1	769,700	-	769,700	8.40
計	-	769,700	-	769,700	8.40

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,870,783	7,398,295
受取手形及び売掛金	1, 2 7,562,089	1, 2 6,749,908
有価証券	752,736	752,755
商品及び製品	134,449	2 154,432
仕掛品	2 236,495	2 232,607
原材料及び貯蔵品	2 688,561	2 740,482
その他	119,549	112,160
貸倒引当金	2,208	2,316
流動資産合計	17,362,457	16,138,325
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,681,349	1,633,399
機械装置及び運搬具(純額)	3 2,519,705	3 2,504,525
土地	2,372,628	2,340,673
その他(純額)	199,548	156,730
有形固定資産合計	6,773,230	6,635,329
無形固定資産	40,367	38,990
投資その他の資産		
投資有価証券	766,496	683,925
その他	775,420	770,625
貸倒引当金	529	154
投資その他の資産合計	1,541,387	1,454,397
固定資産合計	8,354,986	8,128,718
資産合計	25,717,443	24,267,043

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2 4,824,026	2 3,837,520
短期借入金	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	976,802	877,246
未払法人税等	29,641	22,705
賞与引当金	198,263	192,052
役員賞与引当金	13,000	-
その他	520,429	492,389
流動負債合計	6,612,162	5,471,913
固定負債		
長期借入金	2,029,127	1,624,679
退職給付引当金	253,347	263,705
役員退職慰労引当金	252,095	252,095
その他	22,246	22,262
固定負債合計	2,556,815	2,162,742
負債合計	9,168,978	7,634,656
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,043,850	4,043,850
資本剰余金	8,297,350	8,297,350
利益剰余金	5,262,757	5,347,618
自己株式	811,124	811,124
株主資本合計	16,792,833	16,877,693
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,641	7,099
為替換算調整勘定	266,009	252,405
その他の包括利益累計額合計	244,367	245,306
純資産合計	16,548,465	16,632,387
負債純資産合計	25,717,443	24,267,043

(2) 【 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【 四半期連結損益計算書】

【 第 2 四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)
売上高	5,036,805	4,795,118
売上原価	3,435,881	3,667,172
売上総利益	1,600,924	1,127,946
販売費及び一般管理費	₁ 857,841	₁ 858,057
営業利益	743,083	269,888
営業外収益		
受取利息	14,124	15,604
受取配当金	5,792	5,787
不動産賃貸料	13,641	8,894
助成金収入	12,704	-
その他	22,608	16,569
営業外収益合計	68,870	46,856
営業外費用		
支払利息	14,691	13,890
為替差損	13,647	9,008
不動産賃貸費用	8,327	5,542
その他	3,800	5,344
営業外費用合計	40,466	33,787
経常利益	771,486	282,956
特別利益		
固定資産売却益	-	475
特別利益合計	-	475
特別損失		
災害による損失	₂ 127,965	-
投資有価証券評価損	8,201	66,697
特別損失合計	136,166	66,697
税金等調整前四半期純利益	635,319	216,734
法人税、住民税及び事業税	5,350	5,350
法人税等調整額	9,475	783
法人税等合計	4,125	6,133
少数株主損益調整前四半期純利益	639,444	210,600
四半期純利益	639,444	210,600

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	639,444	210,600
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	44,377	14,542
為替換算調整勘定	20,518	13,603
その他の包括利益合計	23,859	938
四半期包括利益	615,585	209,661
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	615,585	209,661
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	635,319	216,734
減価償却費	395,106	456,666
固定資産売却損益(は益)	-	475
災害損失	127,965	-
投資有価証券評価損益(は益)	8,201	66,697
貸倒引当金の増減額(は減少)	573	266
賞与引当金の増減額(は減少)	7,554	6,210
役員賞与引当金の増減額(は減少)	12,000	13,000
退職給付引当金の増減額(は減少)	11,300	10,358
受取利息及び受取配当金	19,916	21,392
支払利息	14,691	13,890
為替差損益(は益)	11,888	7,521
売上債権の増減額(は増加)	516,045	821,520
たな卸資産の増減額(は増加)	38,101	66,418
仕入債務の増減額(は減少)	338,134	987,060
その他	14,489	6,235
小計	272,769	504,801
利息及び配当金の受取額	20,364	21,372
利息の支払額	14,424	13,685
災害損失の支払額	122,855	10,342
法人税等の支払額	11,110	10,780
法人税等の還付額	5,671	4,701
営業活動によるキャッシュ・フロー	150,414	496,066
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	400	400
定期預金の払戻による収入	400	400
有価証券の償還による収入	100,000	100,000
有形固定資産の取得による支出	606,301	388,095
有形固定資産の売却による収入	4,410	48,410
投資有価証券の取得による支出	2,225	367
投資有価証券の売却及び償還による収入	2,700	1,826
貸付けによる支出	12,576	6,527
貸付金の回収による収入	11,376	11,551
投資活動によるキャッシュ・フロー	502,617	233,202
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	391,504	504,004
配当金の支払額	125,740	125,740
財務活動によるキャッシュ・フロー	517,244	629,744
現金及び現金同等物に係る換算差額	9,568	5,589
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	879,015	372,468
現金及び現金同等物の期首残高	8,052,120	8,523,120
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,173,104	8,150,651

【会計方針の変更等】

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる損益への影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

- 1 四半期連結会計期間末日の満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当第2四半期連結会計期間末日は金融機関の休日であったため、次の満期手形が当四半期連結会計期間末日の残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
受取手形	4,783千円	6,108千円

- 2 取引先からの有償支給材料に係る代金相当額が次の科目に含まれております。なお、有償支給材料代金は、「売上高」及び「売上原価」から控除して表示しております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
売掛金	4,207,851千円	2,789,214千円
製品	-	32,624
仕掛品	23,282	22,094
原材料	34,111	53,177
買掛金	4,268,116	2,902,506

- 3 国庫補助金等により取得した資産について取得価額から控除している圧縮記帳額は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
機械装置	130,000千円	130,000千円

(四半期連結損益計算書関係)

- 1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
給料手当	150,040千円	153,047千円
賞与引当金繰入額	32,529	31,650
退職給付費用	18,696	21,415
研究開発費	243,564	246,388

- 2 災害による損失

平成23年4月7日に発生した東日本大震災の余震と見られる地震による損失額であり、その主な内容は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
固定資産の原状回復費用	41,709千円	-千円
固定資産の解体費用及び除却損失	71,220	-
棚卸資産の滅失損失	14,641	-
その他	394	-
計	127,965	-

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4月 1日 至 平成23年 9月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4月 1日 至 平成24年 9月30日)
現金及び預金勘定	6,420,789千円	7,398,295千円
預入期間が 3 か月を超える定期預金	400	400
有価証券勘定 (マネー・マネージメン ト・ファンド、金銭信託)	752,715	752,755
現金及び現金同等物	7,173,104	8,150,651

(株主資本等関係)

前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4月 1日 至 平成23年 9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1 株当たり配 当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年 6月29日 定時株主総会	普通株式	125,740	15	平成23年 3月31日	平成23年 6月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第 2 四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第 2 四半期連結会計期間
末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1 株当たり配 当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年11月 9日 取締役会	普通株式	125,740	15	平成23年 9月30日	平成23年12月 2日	利益剰余金

当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4月 1日 至 平成24年 9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1 株当たり配 当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年 6月28日 定時株主総会	普通株式	125,740	15	平成24年 3月31日	平成24年 6月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第 2 四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第 2 四半期連結会計期間
末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1 株当たり配 当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年11月 8日 取締役会	普通株式	125,740	15	平成24年 9月30日	平成24年12月 7日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

当社グループは、真空成膜関連製品等の製造、販売を行う単一セグメントであるため、記載を省略していません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	76円28銭	25円12銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	639,444	210,600
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	639,444	210,600
普通株式の期中平均株式数(株)	8,382,668	8,382,668

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成24年11月8日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

- (1) 中間配当による配当金の総額.....125,740千円
- (2) 1株当たりの金額.....15円
- (3) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成24年12月7日

(注) 平成24年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月6日

ジオマテック株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	北方 宏樹 印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	山本 千鶴子 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているジオマテック株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ジオマテック株式会社及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。